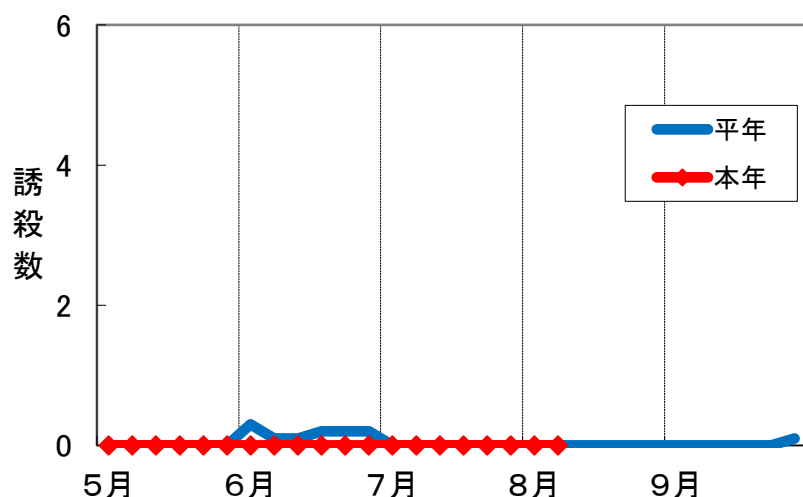


フェロモントラップによるニカメイガ雄成虫の誘殺消長

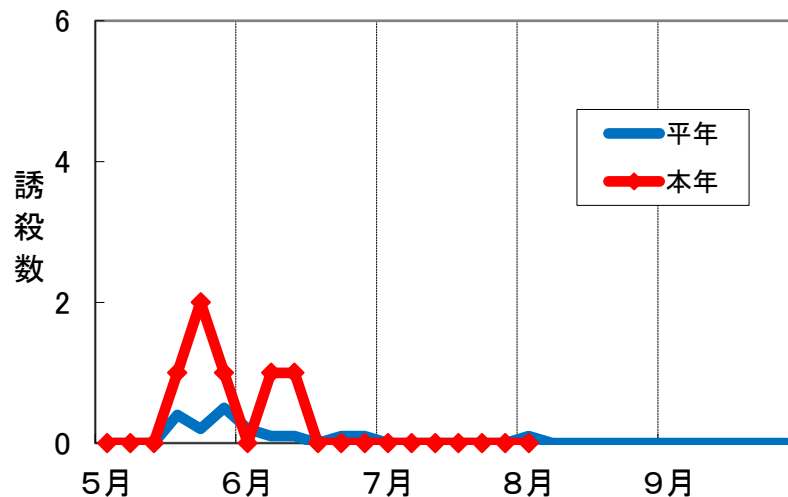
【令和8年(2026年)】

- ・小布施町のフェロモントラップでは、5月第4半旬に1頭が初誘殺されました。その後は平年と比べてやや多い誘殺数で推移しましたが、6月第4半旬以降は8月第2半旬まで誘殺されていません。
- ・須坂市のフェロモントラップには、8月第2半旬まで誘殺されていません。

【須坂市小河原における誘殺状況】



【小布施町における誘殺状況】



※須坂市小河原(農業試験場環境部調査)、小布施町(農業試験場病害虫防除部調査)において5月～9月まで半旬ごと誘殺数をカウント。フェロモントラップの種類はファネル式トラップ使用。

【参考】

1 発生生態

- (1) 本県におけるニカメイガの発生は、年2回の地域と年1回の地域があります。
- (2) 成虫の発生時期は地域によって異なりますが、北信の常発地帯では越冬世代は平年では5月中旬頃から発生し、6月の上旬に発生の最盛期となります。
- (3) 上のグラフは雌の性フェロモンに誘引された雄の成虫数です。

2 防除対策

- (1) 多発地域では稈の太い品種の栽培をさける。
- (2) ニカメイガに効果の高い苗箱施薬を使用する。
- (3) 第1世代幼虫の防除は6月下旬頃、第2世代幼虫の防除は8月上旬頃です。